



SQUARE スクウェア

季刊会報

第 92 号

2010年12月1日

Narashino International Association (NIA)

**平成 22 年度バスハイク****まぐろと古都鎌倉を訪ねて**

吉田 武 (交流文化部会)

冬来たりなば、春遠からじ。今年は夏来たりなば、秋遠からじではなかった。とんでもない猛暑が去った10月2日（土）恒例のバスハイクが実施されました。年々の人気と要望に押され、今回は42人乗り（それでも中型）を用意しました。総勢33名（外国人9名）が参加、一路三浦半島城ヶ島・鎌倉を目指し出発。最初の到着地県立城ヶ島公園は、松を始め多くの緑に富んでことのほか美しく、遠くは房総半島、大島、富士山まで一望出来ます。この後マグロの町三崎にて昼食、当然全員がマグロを食べたはず？です。

さていよいよバスは、古都鎌倉の街へ。日本初の武家政権鎌倉幕府開闢（かいびゃく）以来八百年余りは経ているといえ、名刹も多くその後多くの文人を魅了し安らぎを与えた街、鎌倉、その中心になるのが鶴岡八幡宮です。日頃の行いを懲悔し参加者全員でお参り。台風で倒れた石段横の大銀杏はまだ修復中でした。この後は自由行動で、南北に延びる若宮大路やおしゃれな小物店、飲食店、骨董品のある小町通りに全員が向かいました。全長600mに及ぶショッピングストリートです。言ってみれば「湘南の原宿」でしょうか。

次は、参加のお子様も楽しみにしている「新江ノ島水族館」です。相模湾の海洋環境を再現した驚きや発見のある水族館です。イルカのショーなど全員が楽しめました。ここで通訳部会の山口さんの提案で外国人の参加者の為に是非大仏にと薄暮の中、高徳院に向かいました。1498以来坐して我々を待っていました。薄暮の大仏も美しいものでした。ところで大仏の頭のぶつぶつは螺髪（らほつ）と言いますが、いくつあるか知っていますか？656個です。

習志野はすっかり日が暮れていきました。参加者の皆さんお疲れ様でした。



“私の国のクリスマス、お正月”特集

* * スペインのクリスマス * *

カルメン・モレノ

日本でクリスマスに飾る飾り物と言えば、クリスマスツリーですが、スペインのどこの家庭でも飾られるクリスマスの主役というのが「ベレン人形」です。ベレンとは、もともとスペイン語でイエスが生まれたベツレヘムのことを言います。イエスキリストの生誕の場面を、人形を使って再現しています。生まれたばかりのイエス、ヨセフ、マリアの他に、馬小屋、動物たち、羊飼い、東方の三博士、天使など、色も素材も大きさも色々な種類があります。



ベレン人形

クリスマス・イブは生後一ヶ月のラムの夕食を家族で食べ、25日の深夜0時にはキリスト降誕の祝いのミサに行き、クリスマスの日の行事は終了します。大晦日の夜には、日本では年越し蕎麦を食べますが、スペインではマドリードの有名な広場“プエルタ・デル・ソル”で午後11時59分から午前0時までの一分間に、12粒のぶどうを食べるのがスペイン流の年越しだけです。12の鐘の音とともに一粒ずつ食べ、0時の鐘の鳴り終わりと同時に食べ終われば、新しい年は幸せに過ごせると言われています。広場に来られない人は、テレビで広場の放送を見ながらぶどうを食べます。



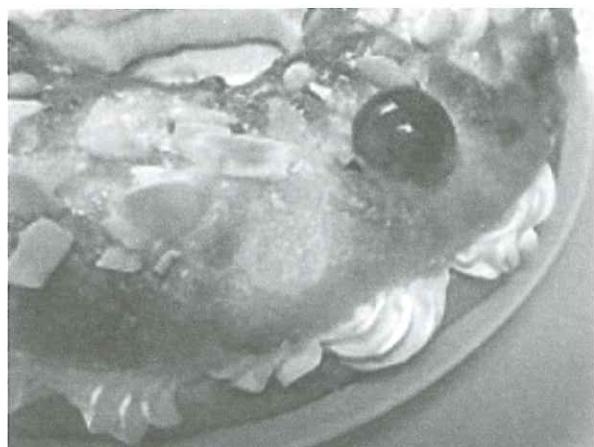
マドリードの広場「プエルタ・デル・ソル」



東方の三博士

クリスマス週間の最後を飾る行事は、1月6日の御公現（ごこうげん）の祝日《“Los Reyes Magos”》（ロス・レイジェス・マゴス）です。東方の三博士が生まれたばかりのキリストに贈り物を持ってはるばる訪れたことから、サンタクロースの代わりに、6日の前夜三博士が子どもたちにプレゼントを持って来るとされています。小さな地方都市では東方の三博士パレードも行われます。子供達は、5日の晩になると博士たちを乗せてやって来るラクダのために、水や食べ物を用意して寝ます。1月6日には、「ロスコン・デ・レイエス」と呼ばれるドーナツ型の大きなケーキパンを食べます。この中には、指輪や、人形などが埋め込まれていて、それに当たった人は、その年の幸運を引き当てたことになりますが、来年「ロスコン」を買わなければなりません。ロスコンに色鮮やかな砂糖漬けのドライフルーツが必ず入るのは、王様の財宝（ルビー・エメラルド）などを表しているのだそうです。

7日に学校のクリスマス休暇が終わり、クリスマス週間も終わります。



（協力：鎌田庸子）

* * フィリピンのクリスマスとクリスマスピノイ (Pinoy) *

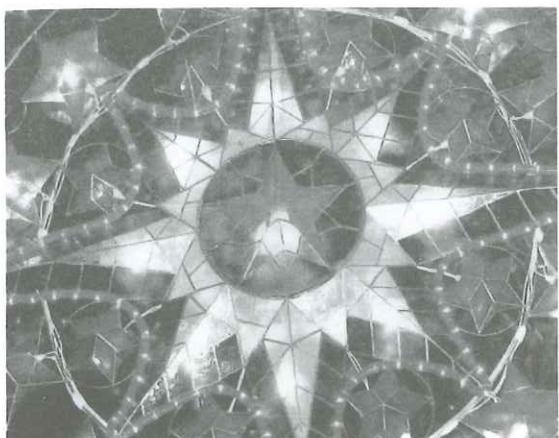
西條ジェシカ

他のキリスト教の国々と同じように、人口の約85%がカソリック教徒のフィリピンでもクリスマスはハロウィーンや11月2日の諸魂日（All soul's day）に続いて盛大に祝われます。

ショッピング・アーケード、モール、小さな店の窓はクリスマスの飾り付けがほどこされ、クリスマスの象徴の12月に入ると、クリスマスキャロルや賛美歌が町のいたるところに流れてきます。代々受け継がれてきた習慣や伝統的な風習がこの時期の祭礼に影響を残しています。



ほとんどのフィリピン人は、シンバンガビ (Simbang gabi、タガログ語で「夜のミサ」の意) と呼ばれるクリスマスイヴまで続く毎晩のミサに出るのが伝統となっています。通りは美しいパロルや装飾をほどこされたフィリピンのランタンで明るく照らされます。ほとんどのカソリックの教会には星によって光を当てられた飼葉桶のキリスト誕生の場面がディスプレイされます。



子どもたちは、可愛がってくれる人たちや友人そして名付け親 (Godparents) からのたくさんのプレゼントに大喜びです。名付け親はキリスト教のしきたりで、司祭の儀式である幼児洗礼を受けた後は養父母のようにその子を見守る責任があります。最近ではすべての子どもたちは幸運なことに、暖かい愛情を注ぎ、贈り物をいっぱいくれる名付け親を数人持っています。そのような愛情へのお返しとして、クリスマス聖歌を名付け親に歌う子供たちもいます。

贈り物やプレゼントの交換は特にこの期間の家族や親戚の集まりにも花を添えます。クリスマスの日は、食堂のテーブルは丸焼きのローストポークを始め、たくさんの料理や食べ物で埋め尽くされます。このような楽しい賑わいは24日のクリスマスイヴから大晦日まで続きます。食べ物に加えて、来年の12の月が幸せで満たされるように12個の丸い形の果物が飾られます。（写真参照）



また、フィリピンの人々は悪魔の魂を追い払うために、紙で作った角笛や唸るような音の爆竹などを使って大きな音を立てます。爆竹をつなげて飾りにしていることが多いです。

ピノイ (Pinoy) とはタガログ語でフィリピンのことです。正式な名称ではありませんがフィリピンではよく聞かれる言葉です。愛する人と祖国のために尽くすことが生きがいのすべてのピノイ達は、このクリスマスの時期は「クリスマス・ピノイ」と呼ばれ、一層喜びと愛を深めるとともにより寛容になります。

（協力：日向洋美）

* * ウクライナのクリスマスと新年 *

朽木レシア

ウクライナは旧ソビエト時代占領下にあったため、ロシア人の大半が信仰しているギリシア正教の暦と同じく、クリスマスを1月7日に祝い、12月25日は何も行いません。

12月31日の大晦日には、サウナに入って身体を清めてから新年を迎えます。12月31日から1月1日の年が変わると同時に盛大に花火を上げ、シャンパンで新年を祝い、1月7日のクリスマスまで毎日パーティーが続きます。クリスマツリーは、12月25日～1月21日まで飾ります。12月31日～1月1日の間に、ウクライナ版のサンタクロースであるジェッド・マロースというおじいさんとその孫娘であるスニエグロチカという雪娘が町にやってきて、子供たちにプレゼントを配ります。



ウクライナ版サンタクロース
「ジェット・マロース」

スニエグロチカ

子供たちは1月1日の朝にプレゼントを開けるのを楽しみに待ちます。親達は子供を連れて、サーカスやミュージカルを見に行ったり、アイススケート場でのコンサート、子供のためのダンスパーティーやディスコなど、さまざまな楽しいイベントのチケットを買って参加させます。1月7日のクリスマスの夕食には、7種類の料理を用意してお祝いします。



まず牧師から水の中に入ります

1月19日は「ボドフレーシニヤ」という健康祈願の日で、水着を着て、池、湖、海など凍えそうに冷たい水の中に3回浸かって、一年間の健康を祈ります。



ウクライナでは今でも馬車が健在です

(協力：鎌田庸子)

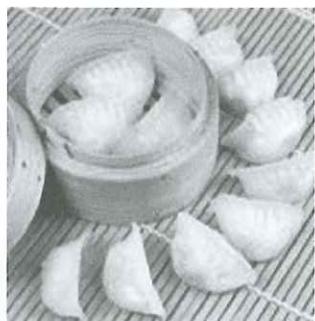
“新年好”シンニエンハオ

中国語挨拶：新年おめでとう

孫艷霞（ソン・イエシャ）

私の故郷の中国東北地方のお正月の様子をお教えします。東北地方の人々は、大晦日には寝ずに年越しをするという習慣があります。

旧年に別れを告げ新年を迎えるため、東北地方では餃子を食べます。たくさんの餃子を作りますが、その中に硬貨を入れた餃子を何個か作ります。その餃子に当たった人は新しい年に幸運に巡り合えるという、吉祥のしるしです。（今は硬貨ではなく、衛生上のこと考えて落花生など木の実を入れるようになりました。）大晦日の他に、餃子を必ず吃るのは、新年の5日です。それは「破五」といって、餃子を噛んで破ることによって、災害などの不運を払い、魔除け厄除けになるからです。



大晦日の夕食後に凍った梨を食べる

大晦日に吃るもののがもう一つあります。それは「凍梨」です。夕食後にこの「凍梨」を吃るのは、お酒や脂っこい食べ物を中和する効果があるからです。解酒、解油効果です。東北地方は寒冷気候のため、果物を凍らせる格別な味わいがでます。凍らせた果物の中でも梨と柿は格別です。その中でも、もっとも有名なのは「秋梨」といわれる種類です。この秋梨は採ったばかりは酸っぱくて渋いですが、木の下に置き、木の葉で覆い戸外の寒さを利用して凍らせます。すると、甘酸っぱく、ジューシーなおいしい「凍秋梨」が出来上がります。大晦日に吃る前に、水の中で解凍する必要があります。



大晦日に長寿のランプをともす

東北人は大晦日に長寿の明かりを灯します。それは一晩中灯し続けられます。大晦日から正月15日まで、どの家も戸口に、紅いちょうちんをかけます。夜になるとちょうちんを灯し、一晩中明るくつけておかなくてはなりません。消すなんてことはできません。健康で長寿を願ってのことです。

新年の1日・2日に掃除をしない

東北人は年の初めに掃除をしません。とくに年をとった人の中に正月1日と2日には掃き掃除をしない人がいます。幸運・金運を掃きだしたくないからです。だから正月は3日になってやっと掃き掃除をするのです。

新年1月中に髪の毛を切らない

一般的に東北人は旧暦の正月は髪の毛を切りません。もしも髪の毛を切ると、母方のおじさんを死なせるという言わわれがあり、それで東北人はこれを嫌い、1月中に髪を切る人はいません。「2月2日に龍が頭を上る」といい、2月2日に髪の毛を切ると縁起がいいと、この日に髪を切る人がとても多いのです。



（協力：田中芳恵）

* * ブラジルのクリスマス *

FELIZ NATAL !!! (フィリスナタル !!!)

(ポルトガル語でメリークリスマスの意)

ブラジルでは人々は通常家族とクリスマスを過ごします。クリスマスのブラジルの夕食にはいくつかの伝統的な料理があります。ローストターキーはブラジルだけではなく、世界の多くの地域で典型的なクリスマスの食事です。

ブラジルでは七面鳥、ハムやチキン以外にも豚も家族みんなで料理します。



クリスマスディナーには果物、ケーキ、様々なデザートやその季節だけの果物等もあります。



ブラジルではクリスマスの典型的なデザートはpanettone (パネットーネ)、フレンチトースト、クリスマスケーキなどがあります。



パネットーネはパンの生地にいろいろな果物、例えば、乾燥ぶどう、イチジクやパパイヤ等が入っていてとてもおいしいです。



久富マルロン

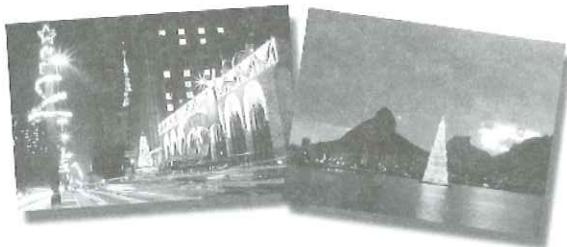
他のラテンアメリカの国やブラジルではクリスマスは夏に祝われる所以人々はビーチやクラブでクリスマスを過ごします。



クリスマスの日にはいくつかの都市のビーチは人々でぎわっています。



多くの場所で人々は照明や装飾で家やお店を飾ります。国中がとても美しくブラジルでは、これを“クリスマスピリッツ”と呼んでいます。



私たちは、すべての愛が、私たちの心の中に常にありますことを望みます。



(協力：山崎真理子)

世界の料理教室

文化委員会

日野陽子

毎回大好評の「世界の料理教室」ですが、今回10月7日に当協会会員の村岡デラポーンさんに「タイの家庭料理」を教えて頂きました。

タイの王室と日本の皇室は古くから親密な関係を持っていますが、現在数多くの日本企業が進出しており、タイと日本は深い繋がりがあります。また、懐かしい名画「王様と私」で観た莊厳な寺院など、数多くの遺跡にも会えると共に、首都バンコクやチェンマイなど東南アジアきっとの近代都市を擁しています。



デラポーンさんは、有名なリゾート地パタヤ近くのライヨンから2009年6月に来日されました。可愛い2歳の坊やの若いママです。ホームシックにかかることがあるそうですが、親切な日本人の人たちと仲良くなれて幸せです、とおっしゃっていました。

メニューは、ヤム・ウン・セン（春雨サラダ）、カイ・ヤッサイ（タイ風オムレツ）、トム・ヤム・シーフード（酸っぱいスープ）、デザートの4品でした。タイ料理のスペシャリティでバラエティに富んだ味は、日本を始め欧米諸国でも高い人気を得ています。この日は「スペシャリティ大好き」「普通」「苦手」などで3つのテーブルに分れ、辛さ、甘さ、酸味、苦味の織りなすハーモニーをじっくり楽しんで味わって頂きました。

今回は、デラポーンさんに日本語を教えていらっしゃる内藤明日香さんと、タイに8年滞在されていた武島道子さんのお二人にお手伝いをして頂きました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

日本語ボランティア養成講座

日本語学習委員会

視野を広げるお手伝い

皆元沙織

日本語ボランティア養成講座も、はや7回を過ぎました。毎回、日本語の複雑さや面白さを楽しみつつも、これまでいかに日本語に対して鈍感であったかを痛感しております。



私は、6年前まで言語聴覚士（主に脳卒中や事故によるコミュニケーション障害や食べることへのリハビリを行う）の仕事をしていました。その仕事の中で、患者さんが自分の気持ちを伝えられないもどかしさ、気持ちを伝えられたときの喜びを感じてきました。

広報志野でこのボランティア養成講座の募集を見た時、状況は違っていても日本人とのコミュニケーションがうまく図れず、もどかしい思いをしている外国の方々の手助けが出来れば、と思い応募しました。

実際に日本語教育を勉強してみて久しぶりに数多くの文法用語を見聞きし、複雑な日本語の文法を外国人の方々に教えることの難しさを実感しています。

講義では毎回、講師の松本先生に厳しくも温かくご指導いただき、熱意あふれる受講生の皆さんからも刺激を受けています。

この講座を通じて、一つでも学習者の気持ちに沿った言葉、環境にあった言葉を教えられ、視野を広げるお手伝いが出来る、そんなボランティアになりたいと思っています。



会員投稿記事

僕の夢

田中賢マルセル

皆さんこんにちは。私の名前は田中賢マルセルです。自分は12歳まで南米にあるウルグアイという国に住んでいました。

みんな、夢を持っていませんか？自分の夢はサッカー選手です。サッカーを始めたきっかけは僕の3歳の誕生日にお父さんがプレゼントしてくれたサッカーボールでした。そのままサッカーチームに入ってどんどんサッカーが好きになりました。

12歳の時日本に来ました。なかなかサッカーをやる機会がなかったけど、お父さんがサッカーチームを見つけてくれたので再びサッカーをやれるチャンスをもらいました。

最初は言葉が通じなくて学校ではいじめにあったり、のけ者にされたりしましたけど、僕には唯一みんなより上手なサッカーがあったから、少し辛かったけど凄く成長できたのではないかと自分は思っています。

僕と同じ年のみんなに言いたい。辛いこと、苦しいことを乗り切る為に夢を持って欲しい。

来年僕はスペインの Valencia っていうところでプロサッカー選手としてサッカーを続けることとなりました。自分も頑張るのでみんなも頑張って下さい。



2011年度(平成23年)さくら祭り アラバマ大学主催俳句コンテスト作品募集

今回のテーマは「passion」「情熱」です。このテーマと季語を入れて俳句をつくり一人一点応募して下さい。

応募要領：応募用紙：NIA事務局又はNIAのホームページから入手してください。

応募締切：2011年1月31日(月)までにNIA事務局へ提出してください。

応募部門：小学校1年生～3年生、小学校4年生～6年生、中学校・高等学校、成人の部の4部門です。

表彰：入賞作品は英語に訳され賞状が授与されます。またアラバマ大学副学長より記念品が贈呈されます。

<訃報>

癌治療で約2年間の闘病生活を続けていたタスカルーサ市在住のクリスチャン・シュミット君が現地時間11月2日午前7時30分に逝去されました。



抗がん剤治療後、在籍する大学(ミシシッピー州)に復学し不撓不屈の精神でこの艱難に立ち向かい神父になるという目標に邁進し多くの方々に深い感銘と勇気を与えた驚異的な意志力の持ち主でした。

荒木市長さんはじめ多くのNIA会員・市職員・市民の皆さんには、千羽鶴を折って頂いた他、沢山のお心遣いを賜りました。皆様のご好意に深く感謝申し上げます。

クリスチャン君のご冥福をお祈り申し上げるとともに、ご遺族にお悔やみ申し上げます。

(前姉妹都市部会長：今井洋子)

スクウェア 第92号

発行 2010年12月1日

習志野市国際交流協会

発行責任者 崎山征雄
編集責任者 高山進三郎

〒275-0016
千葉県習志野市津田沼5-12-12
サンロード津田沼4F
TEL/FAX 047-452-2650

<http://www.nia08.com/>
(Eメール) nia@seapple.ne.jp